

高P連だより

vol.102  
2023

◆事務局◆  
名古屋市中区新栄一丁目49番10号  
愛知県教育会館6階  
TEL: (052) 261-5886  
FAX: (052) 241-7048  
【印刷】  
手島印刷株式会社  
TEL: (052) 522-1635

# PTAの皆様へ

愛知県知事 大村 秀章



愛知県公立  
高等学校PTA  
A連合会の皆  
様には、日頃  
より、本県の  
教育活動の充実に格別のお力添  
えを賜り、深く御礼申し上げます。

未来へ輝く「進化する愛知」を  
築くためには、教育の充実が重  
要です。「あいちの教育ビジョン  
2025」では、自ら学びに向か  
う姿勢や、生涯にわたってたくま  
しく生きる力の育成を掲げ、各学  
校で特色を生かした教育を進め  
ております。

高等学校では、「県立高等学校  
再編将来構想」に基づき、県立高  
校の魅力化・特色化に向けた取組  
を進めております。中高一貫教育  
については、探究学習重視型や地  
域の教育ニーズ型など11校への  
導入を決定しました。定時制・通  
信制高校については、全日制高校  
に通信制のサテライト校と小規  
模の昼間定時制・単位制を併置し  
た新たなタイプの学校を4校設  
置し、更に、夜間定時制高校に夜  
間中学を4か所設置することと  
しました。

特別支援教育では、今年度、千  
種聾学校ひがしうら校舎を開校

し、名古屋東部地区と西三河北部  
地区に新校設置計画の具体化、医  
療的ケア児への通学支援に取り  
組むとともに、2024年度以  
降の指針となる第3期愛知県特  
別支援教育推進計画の策定を進  
めております。

また、今年度より、家族の休  
みに合わせて子供が学校外で活  
動できる仕組みとして「ラーケー  
ションの日」を導入いたしました。  
家族と子供が共に学ぶ機会と  
して、御活用いただきたいと思  
います。

今後も多様なニーズをもつ生  
徒達の学力の伸長や豊かな人間  
性の育成のために、様々な施策  
を進めてまいります。今後も御支  
援、御協力をよろしくお願いいた  
します。

## デジタル社会はアナログの夢を見るか？

愛知県公立高等学校PTA連合会

副会長 川端 安利



20年以上前、  
私は一年間、ス  
페인に留学し  
ました。その頃  
中国ではSAR  
Sが流行し、心弾むはずのフライト  
はアメリカ同時多発テロの翌日とし  
た。スペイン語は分からない。英語  
もそれほど分からない。そんなス  
タートでした。

交換留学先はバレンシア州立  
工芸大学。地中海に面した穏やか  
な気候のスペインには多くのEU  
留学生が集まります。私は陽気  
なフランス人と思慮深いポーラ  
ンド人とアパートをシェアして  
生活しました。その当時ワイファ  
イはなく、電話回線を利用した  
ネット環境。スマホもなくプリペ

イド携帯で送る片言の英語での  
文字コミュニケーション。異国の  
地で地図アプリもなく、紙の地図  
が頼りでした。

習慣として驚いたのは長い昼  
休憩「シエスタ」です。地元の子  
生は大学から一旦家に帰り、家族  
と昼食を取り、昼寝をして、夕方  
の授業に出ることが一般的でし  
た。一見「怠けている」「非効率  
的」と思いましたが実はそうでは  
ありません。大学の授業は早朝に  
始まり、20時ごろまで続きます。  
幅広い選択科目があり、すべてが  
授業で埋まるわけではなく、授業  
と授業の空き時間は学生同士が  
語り合い、それぞれの考えをぶつ  
け、文化の違いを認め合い、私  
さぞ判ったような顔をしてうな

ずいていました。が、このような  
大らかな時間の中で対話こそ  
が日本に不足していることだと  
実感しました。

不自由なことはかりでしたが、  
このような体験は世界や文化を  
知り、自分のベースを形成する  
かけがえのない時間となり、今でも  
その輝きを失いません。断片的  
に思い出す細やかな瞬間はその  
時々の景色や喧騒をも肌で記憶  
しています。もしスマホがあれば  
日本とのやりとりを頻繁にして  
いたでしょう。デジタルツールが  
なかったからこそ、学生同士で語  
り合う機会に恵まれました。

### ココのカギ

- ① 黙読の対義語。
- ② 菅原道真「東風（〇〇）吹かばにほひをこせよ 梅の花・」
- ③ チノ・クロスと呼ばれる綿やポリエステル生地で作られたカジュアルなパンツの代表格。
- ④ 諺（ことわざ）「頭隠して〇〇隠さず」
- ⑤ ゴマをフライパンなどで加熱・焙煎したもの。
- ⑥ 集団の中で守られるべき基準。「〇〇〇正しい」「〇〇〇が乱れる」とも使われる。
- ⑦ 「永久」「永遠」と書いてこう読む場合があります。
- ⑧ 年の初日は元日。その朝のことを特に区別してこう言います。

### タテのカギ

- ① 故きを温めて新しきを知る。
- ② ドラゴスは地元の大観衆の後押しもあり、〇〇〇を生かしサヨナラ勝ちした。
- ③ 土を積み上げてつくった堤。土手。
- ④ 名字としての方が馴染みがあるかもおせち料理として出される家庭も多い。漢字では「栗金団」
- ⑤ 淡水に生息。他にカシカなどとも呼ばれ、力任せの「〇〇押し」の語源（語古くから重要な繊維作物として栽培。別の意味として、特に魚類の内臓を指す。
- ⑥ この地方のお雑煮は「もち菜」を入れる家庭が多いが、似ているので代用されがち。

### 応募方法

ハガキに答え・ご住所・ご氏名・所属PTA（任意で自由コメント）を明記のうえ、  
〒460-10007  
名古屋市中区新栄1-49-10  
愛知県教育会館六階  
愛知県公立高等学校PTA連合会  
までお送りください。

【締切：1月18日消印有効】  
正解者（多数の場合は抽選で15名様）には県立猿投農林高等学校の生徒がプロデュースした「原木栽培の乾燥シイタケ一袋（約100g入り）」を発送させていただきます。

### クロスワードパズル

の文字を並べ替えてできる言葉は？（答えになります）

1		10	11		14
		5		12	
2	9		6		
3					
4			7	13	
			8		

### 事務局だより

#### 日本教育公務員弘済会奨励金

7月12日（水）、高P連理事会の開催に先立ち、弘済会愛知支部からの奨励金給付式を行いました。優秀な活動実績を上げていた高等学校5校（津島横須賀、中村、豊田北、豊丘）の各PTAに対して、奨励金（5万円）が交付されました。

#### 令和5年度東海大会報告

6月16日（金）、岐阜県長良川国際会議場において、午前の総会と午後からの「岐阜大会」が開催されました。自主的な感染症対策として一定の入場制限がなされ、参加者



### 知事への表敬訪問

知事、教育長並びに教育委員会の皆様には、日頃から学校教育とPTA活動の充実のためにご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

高P連では、令和5年6月27日、石井会長以下新三役の5名により、知事への表敬訪問を行いました。

知事には、5月の高P連定期総会へのご臨席や、日頃の

### 事務局長の報告

数日は612名でしたが、アンガーマネジメントコンサルトの濱崎明子氏の講演や、武義高校・静岡農業高校各PTAの活動発表が行われ、日常の場面ですぐにでも実践できそうな感情コントロールの手法や、コ



ご支援へのお礼を述べるとともに、高P連が行っている活動などについてお話をさせていただきました。短時間ではありましたが、直接に意見交換ができる貴重な機会となりました。

その中では、昨今の学校の状況などをお伝えするとともに、県として取り組んでおられる魅力ある学校づくりに向けて、高P連や保護者の立場からも、ご協力できればとお話ししました。

また、高P連が行う事業の一つ、「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」では、各校が実践している活動を広く募集してきていますが、コロナ禍を経て、工夫しながら再開された活動の中から、いくつかの事例

### 健全育成委員会開催

高P連健全育成委員会を、9月20日（水）に開催しました。県警察本部少年課による「少年の非行の概況と県警の取組み」に関する講話のほか、委員の所属する5校における健全育成に関する課題等について話し合われました。

### 来年度の第73回全国高等学校PTA連合会茨城大会について

期日 令和6年8月22日（木）  
23日（金）  
会場 茨城県水戸市など  
（オンライン参加併用予定）

### 予算要望活動

8月3日には、来年度の教育予算について、校長会・事務職員協会とともに、県教育委員会への要望を行いました。

魅力ある学校づくり、望ましい教育環境づくりへの一層の取組と、積極的な情報発信などに向けて、十分な教育予算を確保していただくことをお願いしました。

教育活動の充実に向けて、今後も尽力してまいりますので、会員の皆様には、ご協力のほどお願いいたします。

愛知県立 豊橋工科高等学校 PTA

学校紹介

愛知県立 横須賀高等学校 PTA

豊橋工科高等学校は、昭和19年4月1日に豊橋市立工業学校として創立されました。時代の変化とともに幾度かの校名変更や学科改編が行われ、昭和27年の県立移管に伴い、愛知県立豊橋工業高等学校となりました。令和3年4月には、産業界のグローバル化・デジタル化の進展に対応するため、学科改編、学科名の変更、募集単位の見直しと併せて、工科高等学校へと改称されました。また、今年で創立80周年を迎え、令和7年4月には県立夜間中学の設置が予定されるなど、新たな歴史を歩もうとしています。学科は、ロボット工学科、機械科、電気科、建築デザイン科、都市工学科の5つがあり、校訓「切磋琢磨」のもと、



学校風景

時代の変化に対応できる総合技術者の育成を目指しています。本校PTAの主な活動は、家庭教育講座、PTA食品バザーがあります。家庭教育講座では、工科高校の特色を生かし、地元企業や行政の協力による保護者対象の見学会を開催しています。卒業後の進路を考える子どもとの会話の糸口になることや、地元で活躍する企業の新たな魅力を発見すること



PTAバザー

など、満足度の高い企画となっています。PTA食品バザーは、文化祭に合わせて実施されます。約50名の役員・委員による活気あふれる活動で、クラス企画にも負けないほどの盛況ぶりとなっています。また、生徒対象の講演や講座にもPTAが参加できる体制を整え、開かれた学校づくりを進めています。

『こころの電話』

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 クロウナイ 052-261-9671

令和4年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は547件で、全体の約18%でした。最も多い相談は、子どもの「学校生活に関する相談」で137件あり、高校生の保護者からの相談の約25%を占めます。この「学校生活に関する相談」には、不登校の問題や発達障

高校生からの相談内容 「健康・不安」で、高校生からの相談の約48%を占めます。やはり、「学校生活」の相談には、進路のこと、友人のこと、部活のことなど多くの要素があるからだと思います。

「教育相談こころの電話」は、青少年とその保護者を主な対象とした電話相談です。相談を通して、不安や悩みの自主的な解決を援助することを目的としています。令和4年度は8,848件の相談がありました。相談を受けるのは、研修を積んだボランティア相談員です。名前を告げる必要はありません。また、相談内容が周囲に知られることは絶対にありませんので、安心して相談できます。相談時間は、午前10時から午後10時までです。(ただし、年末年始は除きます。)

お知らせ
当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障がい」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ直接相談事業を実施しています。興味のある方は下記のホームページをご覧ください。



編集後記
毎回、クロスワードパズルには多数の御応募をいただき、誠に有難うございます。応募のハガキにはちょっとしたコメントやイラストなども描かれており、受け取る側の密かな楽しみでもあります。それらのこととは関係なく締切りの消印と答えを確認の上、会長及び広報委員長による厳正な抽選により、当選者の方には遅滞なく景品を送付しております。このスタイルにしてから7年が経過し、その景品も延べ16種類を数えます。(100号記念においては3種からの選択方式とした。)その内容は食品・調味料から布・木工製品など多岐にわたり、いずれも県立学校の生徒さんたちが実習などで作成に係わったものを学校から推薦していただき、その中から広報委員会において検討し、採用しているものです。(過去の一覧は県高P連のHPに記載があります。)

生涯学習社会とウェルビーイングの実現に向けて

現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性 (Volatility)、不確実性 (Uncertainty)、複雑性 (Complexity)、曖昧性 (Ambiguity) の頭文字を取って「VUCA」の時代ともいわれています。このような社会の現状の中で、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング (Well-being)」の考え方が重視されてきています。ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものであり、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念です。子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを、保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その広がりが一人一人の子供や地域を支え、更には世代を超えて循環していくという在り方が求められています。また、AIやDX、メタバース活用など情報通信環境の変化は加速しており、今後の大きな社会変革も予想されます。このような時代の到来にあつては、誰もが生涯にわたり、豊かに学びを続けられる生涯学習社会の実現が望まれます。本課では、2023年3月に第3期愛知県生涯学習推進計画を策定し、学習をとおして県民の皆様が社会の変化に対応しながら、豊かで活力のある生活ができるよう、様々な施策を実施しています。例えば、社会人の学び直しを促進するための環境づくりや、地域住民等の協働による子供たちの放課後における居場所づくり、子供たちの豊かな人間性や多様な個性・想像力を育む文化芸術活動の振興や子供の読書活動の推進、中学校卒業後の進路未定者や高等学校中退者に対する高卒認定試験合格等を目指した学習支援等を行っています。今後も、人生100年時代にふさわしい生涯学習社会の実現に向けて、個人の成長と地域社会の発展やウェルビーイングに資する地域社会づくりに向けた取組を着実に実施してまいります。結びに、各校のPTAの皆様におかれましては、本課の事業への御理解と御協力をいただきますとともに、一人一人が学びを深め、社会全体で子供の教育を担っていくために、これからも多様な立場で子供や地域に関わっていただきますようお願い申し上げます。